

地域包括ケアシステムの構築と空き家の活用

各市町村では、高齢者が要介護の状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制（地域包括ケアシステム→地域共生社会）の構築を進めています。

一方、各地で管理が不十分な空き家の増加が問題となっており、この解消を目指すさまざまな施策が採られ始めています。

このような空き家・空き室・空き店舗を活用して、高齢者・障がい者・児童を含む地域の方々が集う場や、福祉やまちづくりの拠点とする取り組みが各地で進められています。

今回の福祉居住セミナーでは、国土交通省の補助を受けて実施した、空き家の福祉的活用に関する調査研究事業で把握した、空き家等の福祉的活用により空き家の解消と地域包括ケアの拠点の確保とを同時に実現するノウハウを解説するとともに、その先進的な事例を紹介します。

日時	平成31年2月6日（水）13:00～16:30（開場 12:30）
会場	ウイリング横浜 124研修室 所在地：横浜市港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおかオフィスタワー 12階 交通：京浜急行また市営地下鉄 上大岡駅下車 徒歩5、6分
プログラム	第1部 地域包括ケアの推進について —空き家等の活用による拠点づくりを中心に— 講師 空き家の福祉的活用に関する調査研究委員会 第2部 事例紹介 報告1 越谷市 NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター デベロッパーが中心となって、日光街道沿いの蔵や空き店舗を活用して交流サロン、こども食堂、寺子屋等を設置。将来美術館の構想も。 報告2 横浜市旭区 NPO法人 若葉台 神奈川県住宅供給公社の若葉台団地のショッピングセンターに連合自治会、公社、旭区等と連携して地域交流、訪問看護等の拠点を設置。学校の空き教室で障がい者地域作業所も運営。

他に予定しているセミナー

日時	会場	備考
2月25日（月）13:00～	ウイリング横浜 9階研修室	発表事例は調整中。 決まり次第ホームページに掲載してお知らせします。
2月27日（水）13:00～	横浜市開港記念会館 6号室	

定員 120名（定員になり次第締め切ります）

参加費 無料

問合せ・申込 一般社団法人かながわ福祉居住推進機構のホームページから申し込むか、
下記の申込用紙を推進機構事務局にFAXか郵送してください。
ホームページアドレス (<http://www.kanaju.org/>)

※ このセミナーは国土交通省補助事業「空き家対策の担い手強化・連携促進事業」の一環として実施します。



主催 一般社団法人かながわ福祉居住推進機構
〒231-0023 横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階
TEL: 045 (264) 4784、FAX: 045 (264) 4785
共催 (公社) かながわ福祉サービス振興会
協力 横浜国立大学都市イノベーション研究院 (大原研究室)
(一社) かながわ福祉リフォームサポート機構

だれもが安心して暮らせる、
元気な地域の仕組みづくり

【参考】一般社団法人かながわ福祉居住推進機構の概要

一般社団法人かながわ福祉居住推進機構（以下「推進機構」という。）は、高齢者や障がい者が、地域で心身の健康を保持し、自立した日常生活を営むことが出来るよう、安全かつ快適な住まい（福祉居住）の設置を促進するとともに、生活支援の仕組みづくりを目指して、平成24年3月9日に設立されました。

推進機構が進めてきたこれらの事業は、地域包括ケアシステムの構築が市町村に求められている現在、ますます重要な取組みとなっています。

事業体系

- 情報提供事業
- 研修相談事業
- 企画・コーディネート事業
- 福祉コンサルティング事業
- 調査研究事業



福祉居住セミナー（平成30年度 第1回）参加申込書

期日 平成31年2月6日

会場 ウイリング横浜 12階

フリガナ	
お名前	
所属事業所名	
事業所所在地	
連絡先TEL	() 自宅 () 勤務先
連絡先FAX	() 自宅 () 勤務先
連絡先e-mail	
備考	